

# NEDO 2021年度 テーマ公募事業一覧

事業名称		対象技術分野	事業内容	対象者等	助成・委託規模（上限金額）	事業期間	公募予告日	公募期間，参考サイト，備考（過去採択率等）			
次世代プロジェクトシーズ発掘事業	次世代のイノベーションを担う人材の育成、我が国における新産業の創出に貢献 官民による若手研究者発掘支援事業		産業技術分野 エネルギー・環境分野	目的指向型の創造的な基礎又は応用研究を行う若手研究者を発掘、支援することにより、次世代のイノベーションを担う人材を育成するとともに、若手研究者と企業との共同研究等の形成を促進し、我が国における新産業の創出に貢献することを目的として、産業技術分野及びエネルギー・環境分野の研究開発を助成します。	大学等の若手研究者 (45歳未満)	<共同研究> 助成：1テーマあたり3千万円/年  <マッチングサポート> 助成：1テーマあたり1千万円/年	最長5年  最長2年	2020/11/19  2021/6/14	2020/12/28～2021/2/5  2021/8/31～2021/10/25	2020年度 採択25件/応募30件 2021年度 採択16件/応募21件  2020年度 採択36件/応募154件 2021年度 採択17件/応募89件	
	将来の国家プロジェクトになり 得る革新的なシーズの発掘 NEDO 先導研究プログラム	エネルギー・環境 新技術先導研究プログラム	エネルギー・環境	飛躍的なエネルギー効率の向上や低炭素社会の実現に資する有望な技術の原石を発掘し、将来の国家プロジェクト等に繋げていく先導研究を推進します。	原則企業・大学等による産学連携体制	委託：1億円/年 ※1:産学連携体制の例外： 大学・公的研究機関のみ 委託：2千万円	原則1年 (最長2年)  ※1 1年	2020/7/10  2020/7/10	2020/12/25～2021/2/12	2020年度：採択29件/応募60件 追加公募：採択21件/応募74件 2021年度：採択28件/応募73件	
		新産業創出 新技術先導研究プログラム	新産業創出に結びつく 産業技術分野	新産業創出に結びつく将来有望な技術シーズを発掘し、先導研究を実施することにより有望な技術に育成して、将来の国家プロジェクトに繋げていくことを目的とします。							
	新技術先導研究プログラム	マテリアル革新技術 先導研究プログラム	マテリアル分野	新産業創出に向けた有望なマテリアル分野の革新的なシーズ発掘・育成を行い、製造プロセスの飛躍的な高度化に向けた研究開発、データ駆動型材料研究開発を委託します。			原則1年 (最長3年) ※1 1年	2021/1/8	2021/2/10～2021/3/26	2021年度：採択8件/応募61件	
従来の発想によらない革新的な低炭素技術シーズを探索・創出 NEDO 先導研究プログラム/未踏チャレンジ2050		エネルギー・環境	エネルギー・環境分野において、原則として産学連携に取り組む企業及び大学・研究機関等を対象に、2050年を見据えた温室効果ガスの排出削減を実施する革新的な技術・システムについて、解決すべき技術課題とそれを解決する研究開発の提案を募集します。	※2 原則企業・大学等による産学連携体制	委託：2千万円/年	最長5年	2021/2/26	2021/4/27～2021/6/30 ※2 大学・研究機関は40歳未満の若手研究者	2020年度：採択8件/応募40件		
研究開発型スタートアップ支援事業	大学、研究機関、スタートアップの起業家の育成支援 NEDO Technology Commercialization Program (TCP)		新規性・革新性の高い技術・分野開拓	技術シーズの事業化やそのプロセスに関心を有する国内の大学・研究機関等に在籍する研究員、大学院生、学部生であって、将来起業することを視野に入れている方を対象に、ビジネスプラン作成のための研修と、プラン発表の機会を提供します。	企業・大学等の個人	専門家による研修： 人材育成プログラム（活動費の支援は無し）	—	連携イベント 公式サイト	連携イベント等を通じた応募  イベント情報は、NEDO TCP 専用サイト <a href="https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP2_100103.html">https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP2_100103.html</a> 参照		
	研究開発型スタートアップを目指す起業家候補のための 事業化/PoC 支援 NEDO Entrepreneurs Program (NEP)		新規性・革新性の高い技術・分野開拓	技術シーズを活用した事業構想を有する起業家候補人材（個人、研究機関等や企業等に属する者、又は事業化前の法人）に対し、事業化支援人材（カタライザー）による指導・助言の機会提供など、研究開発型スタートアップを立ち上げるための活動を支援します。	事業構想を有する 起業家候補人材	助成： 助成率 100%	タイプA（個人/法人） 5百万円  タイプB（法人） 3千万円	6ヶ月  1年	第1回公募： 2021/3/1 第2回公募： 2021/9/1	第1回 2021/4/1～2021/5/17 第2回 2021/10月上旬～11月下旬予定	2020年度(第1回)：採択16件/応募38件 2020年度(第2回)：採択22件/応募59件 2021年度(第1回)：採択28件/応募75件
	ベンチャーキャピタル等と連携してシード期のスタートアップを支援 シード期の研究開発型スタートアップに対する事業化支援 (STS)		新規性・革新性の高い技術・分野開拓	具体的な技術シーズを活用した事業構想を持ち、NEDO が認定したベンチャーキャピタル等が出資を行うシード期の研究開発型スタートアップに対して、事業化のための助成を行います。	シード期の研究 開発型スタートアップ	助成：助成率 2/3  全期間で7千万円若しくは2億円	1.5年 若しくは 最長2年	第1回公募： 2020/12/24 第2回公募： 2021/4/12 第3回公募： 2021/8/11	第1回 2021/1/25～2021/3/4 第2回 2021/5/12～2021/6/17 第3回 2021/9/14～2021/10/19	2020年度(第1回)：採択6件/応募18件 2020年度(第2回)：採択6件/応募21件 2020年度(第3回)：採択6件/応募15件 2021年度(第1回)：採択5件/応募17件 2021年度(第2回)：採択10件/応募19件	
	社会ニーズ・政策課題に基づく研究開発テーマ解決にチャレンジするスタートアップを支援 SBIR推進プログラム (Small Business Innovation Research) フェーズ1		各省市ニーズに基づく研究開発課題	政府機関が解決を目指す社会課題を基に研究開発テーマを設定し、その解決に資する研究開発成果を円滑に社会実装しイノベーション創出につなげるスタートアップや中小企業を支援します。フェーズ1（基礎・FS）では研究開発内容の実現可能性や技術的又は商業的な潜在性を判断するために実施する概念実証（POC）や実現可能性調査（FS）の実施を委託します。	研究開発型 スタートアップ	委託：NEDO 負担率 100%  1.5千万円/事業期間	交付決定日 から 2022年3月	2021/7/14	2021/08/16～2021/9/17		
	事業会社・VC・研究機関等と連携した事業化支援 Product Commercialization Alliance (PCA)		新規性・革新性の高い技術・分野開拓	提案時から数年で継続的な売り上げをたてる具体的な計画がある研究開発型スタートアップ（PCA）を支援。	研究開発型 スタートアップ	助成：助成率 2/3  全期間で2.5億円	8ヶ月	2020/12/28	2021/2/26～2021/4/5	2020年度：採択10件/応募59件 2021年度：採択5件/応募17件	
	研究開発型スタートアップ支援の中核的な役割を担う専門支援人材を輩出 高度専門産業支援人材育成プログラム (SSA)		—	日本のベンチャー・エコシステムの構成員としての公益的視点、広い知見や高い専門性を持って先端の研究開発型スタートアップの発掘から成長を伴走支援できる、現場の中核的役割を担う高度専門支援人材、上記のキャリアパスを志向するイノベーション支援人材を、産・学・官・公・民の横串で育成します。	個人	人材育成プログラム	2021/10～ 2022/3まで (予定)	2021/9/8	2021/10 初旬～1カ月弱	2017年度：OJT参加25名/応募72名 2018年度：OJT参加41名/応募85名 2019年度：OJT参加31名/応募64名 2020年度：未実施	
研究開発成果の実用化・事業化支援事業	再生可能エネルギー分野の事業化を目指した技術開発を支援 新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた 技術研究開発事業		再生可能エネルギー等	本事業は、技術の事業化までのステップや事業化計画の進捗状況に合わせて、2つの制度（新工ネ中小・スタートアップ支援制度、未来型新工ネ実証制度）及び6つのフェーズ（社会課題解決枠フェーズA及びB、新市場開拓枠フェーズa及びb、フェーズC、フェーズD）を設け、中小・スタートアップ企業等による再生可能エネルギー普及に資する事業のご提案を公募・選定し、事業化を見据えた技術開発支援を行います。また、「イノベーション・コスト構想」の推進につながる技術開発や実用化・実証研究については支援を強化します。	中小企業等  国内に登記済の企業等	社会課題解決枠 フェーズA 助成率8/10 1千万円/期間 フェーズB 助成率8/10 5千万円/期間  新市場開拓枠 フェーズa 助成率2/3 1千万円/期間 フェーズb 助成率2/3 5千万円/期間  フェーズC 助成率 2/3 1.5億円/期間 フェーズD 助成率 2/3 3億円/期間 (大企業は助成率1/2)	1年  2年  1年  2年  2年 3年	第2回公募 2021/5/28	第1回 2021/3/29～2021/5/6 第2回 2021/8/25～2021/9/29	2020年度(第1回)：採択20件/応募35件 2020年度(第2回)：採択4件/応募10件 2021年度(第1回)：採択16件/応募32件	
	省エネルギー技術の研究開発を支援 脱炭素社会実現に向けた省エネルギー 技術の研究開発・社会実装促進 プログラム	個別課題推進 スキーム	省エネルギー  (国内において「2040年時点で10万kL/年以上(原油換算値)の省エネルギー効果量」が見込めること)	2050年温室効果ガス排出大幅削減に向け、「省エネルギー技術戦略」で掲げる重要技術を中心に2040年に高い省エネルギー効果が見込まれる技術開発を支援することで、我が国における省エネルギー型経済社会の構築及び日本の産業競争力の強化に寄与することを目的としています。	企業・大学等 (企業必須、大学 単独の提案は不可)	FS調査 助成率3/4 1千万円/年  インキュベーション 研究開発フェーズ 助成率2/3 2千万円/年  実用化開発 助成率2/3又は1/2 3億円/年  実証開発 助成率1/2又は1/3 5億円/年  重点課題推進 スキーム 助成率2/3又は1/2 10億円/年	1年  2年  5年※4  3年※4  10年	2021/1/25	2021/3/29～2021/5/13	※3 NEDO負担率+実施者負担額 ※4 通常2年または3年。 事業終了は2月または3月の予定 別フェーズと組み合わせる場合、事業期間1年でも可能。 3年の場合、2年終了時に継続可否審査	2021年度：採択20件/応募46件
		社会ニーズ・政策課題に基づく研究開発テーマ解決にチャレンジするスタートアップを支援 SBIR推進プログラム (Small Business Innovation Research) フェーズ1		各省市ニーズに基づく研究開発課題	政府機関が解決を目指す社会課題を基に研究開発テーマを設定し、その解決に資する研究開発成果を円滑に社会実装しイノベーション創出につなげるスタートアップや中小企業を支援します。フェーズ1（基礎・FS）では研究開発内容の実現可能性や技術的又は商業的な潜在性を判断するために実施する概念実証（POC）や実現可能性調査（FS）の実施を委託します。	研究開発型 スタートアップ	委託：NEDO 負担率 100%  1.5千万円/事業期間	交付決定日 から 2022年3月	2021/7/14	2021/08/16～2021/9/17	